

プレスリリース Powered by PR TIMES

[JASMIN MUSIC]

## マルチプレイヤーのヒカルド・バセラルー 日本人シンガーを迎えブラジル音楽を讃えるコンサート開催

2024/07/13

JASMIN MUSIC

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。



ヒカルド・バセラルー



村田匠、ヒカルド・バセラルー、マルキーニョス・ラモス



ヒカルド・バセラルー、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠

ブラジル・セアラ州出身のミュージシャン、ヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)が7月9日と10日、東京のブルーノート・プレイスで2夜連続公演を行った。1日目と2日目で異なるパフォーマンスを披露。バセラルーは7月中旬まで日本ツアーを開催中で、13日は福岡、18日は鎌倉(神奈川)での公演が予定されており、20日は再び東京でライブを行う。

ブルーノート・プレイスのステージでは、2日目の夜にインストゥルメンタル曲の「Fogueira」が演奏されたことが大きなサプライズとなった。同曲は、チェリストのジャクス・モレレンバウム(Jaques Morelenbaum)と共同制作したアルバムに収録される予定だ。

フォホーのリズムに、バセラルーならではの特徴を持つ楽曲で、ステージではマルキーニョス・ラモス(Marquinhos Ramos)と村田匠が出演しパンデイロを演奏した。

今回のツアーに同行しているバセラルーの妻マノエラは、「ブラジル北東部にルーツを持つこの音楽を聞けば体が勝手に動き出してしまう」と語った。

同じくインストゥルメンタル曲で、ブルーノートでの公演のために特別のアレンジで演奏された「Vila dos Passaros」も話題となった。世界が過酷な状況下にあったコロナ禍の最中に書かれたというこの作品の曲調には、聞く人を鼓舞し前向きな気持ちにさせる力がある。

歌手のマリアンジェラ(Mariangela)は、「Upa, Neguinho」でバセラルーと共演。この公演には歌手の山田タマルも出演し、バセラルーとともに「O Barquinho」を披露した。この曲は、バセラルーに説得されたボサノヴァの巨匠ロベルト・メネスカル(Roberto Menescal)が歌ったバージョンが先日再リリースされている。

また、バセラルーは日本へのオマージュとして、海外では「スキヤキ」の題名で知られる「上を向いて歩こう」をレパートリーに加え、マリアンジェラ、山田タマル、村田匠とともに演奏した。

コンサートを鑑賞し日本人によるボサノヴァの演奏を楽しんだというセアラジャパンのチアゴ・マルソン・フォンセカ代表は、「ブラジルの優れた音楽が、二つの文化の間を流れるように見事に演奏されるのを聴くことは、我々ブラジル人にとって素晴らしい経験となった」と述べた。

ブラジル音楽に関する書籍「ブラジル・インストゥルメンタル・ミュージック・ディスク・ガイド」の著者であるウィリー・ウーバー氏は、「5年半振りに来日したヒカルド・バセラルー。ブルーノート・パレスでは30分強の2セットという短めのステージだったが、ミルトンやエドゥ、ジル、ジョルジ・ベン、ベルキオールといったMPBスタンダード曲から、メネスカルのボサノヴァ曲、そしてオリジナルのフォホーまで、ブラジル色満載の内容となった。初顔合わせのゲスト・シンガー達とも上手く調和できたのはバセラルーのセンスの良さだろう。次の機会はじっくりと聴いてみたい」と語った。

第1夜は中原仁、第2夜は桜井芳次郎がミュージックセレクター (DJ) を務めた。

コンサートの制作はトゥピニキーム・エンターテインメントが担当した。

●7月13日 (土) 福岡

TIEMPO HALL

<https://tiempohall.tiempo.jp>

※詳細・チケット情報→ <https://x.gd/PC2i4>

●7月18日 (木) 鎌倉

JAZZ CLUB DAPHNE

<https://www.jazz-daphne.jp>

※詳細・チケット情報→ <http://ptix.at/8S0K2v>

●7月20日 (土) 東京

第17回ブラジルフェスティバル (代々木公園イベント広場)

<https://festivalbrasil.jp/ja/>

※入場無料 Free Live

Homepage shows: <http://www.tupiniquim.net/>

Youtube: [https://www.youtube.com/ricardo\\_bacelar](https://www.youtube.com/ricardo_bacelar)

Instagram @ricardo\_bacelar

Jasmin Music: <https://jasminmus.com/>

[企業プレスリリース詳細へ](#)

[PR TIMESトップへ](#)

・[PR TIMESプレスリリース詳細へ](#)

バックナンバー [プレスリリース](#)

- ・ [「Cassette Week Japan 2024」第1弾アーティスト発表](#)
- ・ [劇本版最新作『わんだふるぷりきゅあ! ざ・むーびー! ドキドキ\(ハート\)ゲームの世界で大冒険!』公開記念! 9月7日\(土\)、8\(日\)に『わんだふるぷりきゅあ!』最新・31話までの「ABEMA」初無料一挙放送が決定!](#)
- ・ [LivelyLife: 睡眠や運動状態が可視化できる次世代のスマートリング「R3」を発表](#)
- ・ [【ロエベ】第81回ベネチア国際映画祭でおこなわれた《Queer\(原題\)》のフォトコールにて、ダニエル・クレイグ、ルカ・グアダニノー、オマー・アポロらがロエベを着用](#)

[つづきを見る](#)

[プレジデントオンライン](#) > [プレスリリース](#)



マナーを守る人。

Hiroyuki Tamaki

## 人気記事ランキング

1時間 週間 いいね! 会員

「群馬台国は織内説」が有力視され始めた理由

1 「鎌倉幕府の成立は1192年ではなく1185年」は真っ赤なウソ…いまの日本史教科書に書かれている「正解」

民間の医療保険は基本的に必要ないが…南海トラフ地震で家が燃えても「火災保険」は適用されない…元国税局職員「これだけは加入すべき2つの保険」

日本は「農業減産」の危機を迎えている「コメ離れ」なのになぜ「令和の米騒動」が起きたのか…「時給10円」で農家を働かせる政府の信じられない愚策

どれだけ「レアな共通点」を見つけれらるか

4 これで初対面のどんな相手でも一気に距離が縮まる…「コミュニケーションの高い人が頻りに使っている」5文字の言葉

歌に書いた「私のことを人として扱ってくれない」の意味

5 紫室部が実家に引きこもったのは藤原道長のせいである…NHK大河では描かれない「出仕拒否」の本当の理由

任されたラーメン店を潰し自分も死の危機…「ゴロゴロ」からあつげれる「復活」

6 「平均1250円」名古屋の高額弁当店に全国から客が続々…女性店長が「300万円自腹」で大繁盛の裏に「大谷翔平」

SNSでは牛角を擁護する声が目立っているが…牛角の「女性だから半額」はもう通用しない…「女性客に変えられる店」がやっている「女性限定」より効果的な手法

NEW

農協マネーを外国産投資で戻した根本原因

8 ついに「農協崩壊」がはじまった…農林中金「1兆5000億円」の巨大赤字「報道が示す「JAと農協」の歪んだ関係

本人は「若くて美人の女性と結婚したい」

9 年収350万円、体重100kg、趣味は「酒、麻雀、バイク、風船」…52歳男性に結婚相談所が伝えた「残酷なひと言」

感謝することは、ほめた人をほめ返すことになる

10 「素敵な服だね」「いえいえ…」は絶対ダメ…一流の人が実践する、褒められたときの「最強の切り返し」

もっと見る >



## INFORMATION Sponsored

パフェット名取引数え明!

投資初心者こそ知るべきパフェットの投資哲学。第一戦「値下がってもキレるな!」

健康と仕事の両立

平均寿命と健康寿命の変化が示す職場での健康対策の必要性と実践例

注目の社名変更プロジェクト

何をどう変えるか。クリエイターの思考回路

4つの事例でやるTEKOの実力

人を動かすPROの仕事で会社が変わった!

成長をクリエイティブで加速させる

Accelerate NIPPON. 社名変更プロジェクト



PRESIDENT 2024年9月13日号

新NISA 儲けた人、損した人



こちらで販売中 amazon PRESIDENT STORE

[雑誌の予約購読はこちら](#)

プレジデントFamily 2024年秋号

子供が伸びる「親の言葉」愛読書



こちらで販売中 amazon PRESIDENT STORE

[雑誌の予約購読はこちら](#)



平均株価「4万円超え」は単なるバブルか

景気の読み方 4週

お金の大局観を磨く新メディア PRESIDENT Growth